

連作版画A

担当教員 鈴木吐志哉、大沼正昭

受講アトリエ 【402・工房】

12/10 (月)~1/29 (火)

授業内容

各自制作可能な大きさ、内容に挑戦してもらいます。2点制作。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考	
1	12月10日	月		準備 フランス語	大沼	ガイダンス		
2	12月11日	火		先端メディア		制作		
3	12月12日	水		芸術論 制作		制作		
4	12月13日	木		制作	鈴木	制作		
5	12月14日	金		制作	鈴木	制作		
	12月15日	土	終業日・清掃 ~冬休み~					
6	1月9日	水		芸術論 制作	鈴木	制作		
7	1月10日	木		制作		制作		
8	1月11日	金		制作		制作		
9	1月12日	土		制作	鈴木	制作		
10	1月13日	日						
11	1月14日	月	成人の日					
12	1月15日	火		先端メディア	大沼	個別指導		
13	1月16日	水		芸術論 制作		制作		
14	1月17日	木		制作		制作		
15	1月18日	金		制作	鈴木	制作		
16	1月19日	土		制作	鈴木	制作		
17	1月20日	日						
18	1月21日	月		制作 フランス語		制作		
19	1月22日	火		先端メディア	鈴/大	個別指導		
20	1月23日	水		芸術論 制作		制作		
21	1月24日	木		制作		制作		
22	1月25日	金		制作	鈴木	制作		
23	1月26日	土		制作	鈴木	制作		
24	1月27日	日						
25	1月28日	月		先端メディア	鈴木	制作		
26	1月29日	火		芸術論 制作	鈴/大	中間講評		

学習目標

各自の表現に適した版種を選択し、版材料の手配も含め、版画作品を2点制作することで技法の修得、将来の作家活動につながる個々の表現法・テーマを考えていきます。

予習・準備物

各自選択した版種の材料、インク、描画材料、彫刻刀など

注意事項

指導日には必ず出席すること。

評価方法

提出課題による採点

メゾチント

担当教員 大沼正昭

受講アトリエ 【402・工房】

11/28 (水)~12/7 (金)

授業内容

18cm×24cmサイズの作品を制作します。テーマは自由です。版を通して黒から白までの諧調をあらためて考え、黒の魅力、白の魅力を味わいましょう。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	11月28日	水		芸術論 準備		下絵制作	
2	11月29日	木		下絵制作	○	技法説明・刷り説明	
3	11月30日	金		制作	○	制作	
4	12月1日	土		制作		大学版画展	
5	12月2日	日					
6	12月3日	月		制作 フランス語		制作	
7	12月4日	火		先端メディア	○	試刷り	
8	12月5日	水		芸術論 制作		制作	
9	12月6日	木	○	試刷り	○	制作	
10	12月7日	金		制作	○	本刷り	

学習目標

メゾチントは『黒の技法』とも言われるように、版の全面をベルソー等の道具で傷をつけ、黒くインクが残る下地を作り、それをスクレーパーやバニッシャーで削ったり、磨いたりして、白く描き起こしていく技法です。光と影、黒から白までの諧調を版を通して考えます。

予習・準備物

18cm×24cmサイズのエスキース、銅版、新聞紙、エプロン、版と刷り紙は自己負担になります。

注意事項

評価方法

課題作品50% 制作態度・積極性・出席50%

木口木版画

担当教員 栗田政裕

受講アトリエ [402・工房]

11/15 (木)~11/27 (火)

授業内容

テーマ=自由制作

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	11月15日	木		準備	○	木口木版の版木の作り方	参考作品の提示
2	11月16日	金	○	木口木版のビュランの研ぎ方	○	木口木版の摺り方	
3	11月17日	土		制作 日本語		制作	
4	11月18日	日					
5	11月19日	月		制作 フランス語		制作	
6	11月20日	火		先端メディア		制作	
7	11月21日	水		芸術論 制作	○	彫り	
8	11月22日	木		制作		制作	
9	11月23日	金		勤労感謝の日			
10	11月24日	土		制作 日本語	○	彫り	
11	11月25日	日					
12	11月26日	月		制作 フランス語		制作	
13	11月27日	火		先端メディア	○	講評会	

学習目標

木口木版画は、18世紀頃ヨーロッパで完成された木版画の技法である。柘植、椿等の堅牢な木材の木口の面を、ビュランという彫刻刀で彫り進んでいく木口木版画の技法は、白と黒との精緻な表現に適している。本実習では、版画の技法の中でもとりわけ単純で明快な、彫って摺るという行為に重点を置く。原初的な彫版の作業の中で制作者は自分自身の素直な表象と出会う実習である。

予習・準備物

ウエス、新聞紙、軍手、紙 [パラフィン紙 (あて紙用)、アルシュの小判、B F Kの中判、雁皮紙]、ビュランNo.5

注意事項

評価方法

提出課題による採点

2年 ファインアート科

先端メディア

担当教員 八幡純和、渡邊遼平、岡山拓史

受講アトリエ [401]

11/13 (火)~12/11 (火)

9:00-12:00

授業内容

WEB、SNS、APP、VRなど様々なテクノロジーやサービスの仕組みを紹介し、個別にコミュニケーションを取りながら作品制作をしてもらいます。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	11月13日	火	○	VR制作		実技カリキュラム	
2	11月20日	火	○	VR制作		実技カリキュラム	
3	11月27日	火	○	VR制作		実技カリキュラム	
4	12月4日	火	○	VR制作		実技カリキュラム	
5	12月11日	火	○	VR制作		実技カリキュラム	
6	1月15日	火	○	制作		実技カリキュラム	
7	1月22日	火	○	制作		実技カリキュラム	
8	1月29日	火	○	制作		実技カリキュラム	
9	2月5日	火	○	制作		実技カリキュラム	

学習目標

昨今のメディアやサービスへの理解を深め、それらを自分の作品制作や発表方法に取り入れてもらいます。そして今後より多様化する社会の中で柔軟に活動できるよう応用力と適応力を高めてもらうことを目指します。

予習・準備物

好きなアーティストのWebサイト、興味あるジャンルなどのWebサイトをリストアップ。

注意事項

欠席をしないこと。

評価方法

課題作品：70% 制作態度・積極性：30%

石版画

担当教員 板津 悟

受講アトリエ [402・工房]

10/25 (木)~11/14 (水)

授業内容

石版石を版材として使える様な状態にするまでの作業工程も含めて、素材との対話を大切にしながら個々の表現を考える。作品はモノトーンとし、一つ一つの行程を把握する。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考	
1	10月25日	木		準備	○	オリエンテーション+石研磨		
2	10月26日	金		制作		制作		
3	10月27日	土		制作 日本語		制作		
4	10月28日	日				制作		
5	10月29日	月		制作 フランス語		制作		
6	10月30日	火		現代美術実習	○	描画作業		
7	10月31日	水		芸術論 制作		制作		
8	11月1日	木		制作		制作		
9	11月2日	金		制作	○	描画作業		
10	11月3日	土	文化の日					
11	11月4日	日						
12	11月5日	月		制作 フランス語		制作		
13	11月6日	火		現代美術実習		制作		
14	11月7日	水		芸術論 制作	○	刷り		
15	11月8日	木		制作		制作		
16	11月9日	金		制作	○	刷り		
17	11月10日	土		制作 日本語		特別講座		
18	11月11日	日						
19	11月12日	月		制作 フランス語		制作		
20	11月13日	火		先端メディア		制作		
21	11月14日	水		芸術論 制作	○	刷り+講評		

学習目標

講義、実習を通して石版画の歴史や技術を学び、平版の仕組みを体感しながら石版石の特徴を活かした制作を行う。

予習・準備物

制作のもとになるエスキース、ウェス、新聞紙、紙（上質紙厚口、いずみ等）描画材料（ダーマトグラフ、ボールペン、等）、定規、鉛筆、マスキングテープ

注意事項

評価方法

提出課題による採点

2年 ファインアート科

現代美術実習

担当教員 宇治野宗輝

受講アトリエ [501]

10/2 (火)~11/6 (火)

9:00-12:00

授業内容

絵画以外の形式で作品を制作。詳細は初日にディスカッションをして決定。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	10月2日	火	○	制作			
2	10月9日	火	○	制作			
3	10月16日	火	○	制作			
4	10月23日	火	○	制作			
5	10月30日	火		制作			
6	11月6日	火	○	制作			

学習目標

今までやったことのないことをやる。

予習・準備物

注意事項

評価方法

授業態度及び提出課題による採点

リトグラフB

担当教員 中村真理
 受講アトリエ [402・工房]

10/1 (月)~10/24 (水)

授業内容

リトグラフの特性を利用して個々の表現したいテーマに基づき制作する。4版種の中でもリトグラフの版作りは彫るのではなく「描く」という行為に近い版なので、普段の絵を描く様に手を動かし自分自身で体験しながらリトグラフの仕組みを学んでいく。各自のテーマや表現したいことに応じて版数や、色数、大きさ等は検討する。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考	
1	10月1日	月		制作 (フランス語)	○	オリエンテーション、多色刷りの説明、ベタ版のデモ		
2	10月2日	火		現代美術実習		描画		
3	10月3日	水		芸術論	○	見当を使った刷りのデモ、描画、製版		
4	10月4日	木		描画、製版		描画、製版		
5	10月5日	金		描画、製版、刷り		描画、製版、刷り		
6	10月6日	土		制作 (日本語)		合同講評会		
7	10月7日	日						
8	10月8日	月	体育の日					
9	10月9日	火		現代美術実習		描画、製版、刷り		
10	10月10日	水		芸術論		描画、製版、刷り		
11	10月11日	木		描画、製版、刷り		描画、製版、刷り		
12	10月12日	金		描画、製版、刷り	○	中間講評、製版、刷り		
13	10月13日	土		制作 (日本語)		制作 (特別講座)		
14	10月14日	日						
15	10月15日	月		制作 (フランス語)		描画、製版、刷り		
16	10月16日	火		現代美術実習		描画、製版、刷り		
17	10月17日	水		芸術論		製版、刷り		
18	10月18日	木		製版、刷り		製版、刷り		
19	10月19日	金		製版、刷り	○	製版、刷り		
20	10月20日	土		制作 (日本語)		刷り		
21	10月21日	日						
22	10月22日	月		制作 (フランス語)	○	刷り		
23	10月23日	火		現代美術実習		刷り		
24	10月24日	水		芸術論	○	刷り、講評		

学習目標

講義、実習を通してリトグラフの製版方法や刷りの行程を学び、リトグラフの特性を活かした制作を行う。

予習・準備物

制作のもとになるエスキース(色付けしたものだと良い)、ウエス、新聞紙、紙(上質紙厚口、いづみ等)、アルミ板(45.5×60.6cm)、描画材料(ダーマトグラフ、ボールペン、等) 定規、筆、鉛筆、マスキングテープ、等

注意事項

1人1作品に3版以上使用すること。多色の作品になるので描画や製版、刷りの行程は余裕を持って計画すること。

評価方法

提出課題による採点。

2年 ファインアート科/ビジュアルデザイン科

絵画技法実習（水彩）

担当教員 工藤礼二郎

受講アトリエ [502]

9/7(金)~9/21 (金)

13:00-16:00

授業内容

風景写真をもと水彩画を描く。水張りした画用紙に透明水彩を用いる。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	9月7日	金		実技カリキュラム	○	水張り、技法説明、制作	
2	9月14日	金		実技カリキュラム	○	制作	
3	9月21日	金		実技カリキュラム	○	制作、講評	

学習目標

ウォッシュ、ウエット・イン・ウエット、ドライブラシなどの水彩技法の体験、習得。

予習・準備物

注意事項

評価方法

提出課題による採点

木版画B

担当教員 鈴木吐志哉

受講アトリエ 【402・工房】

9/3(月)～9/29(土)

授業内容

■ 300×225mm (4～5版) ■ 150×150mm (1版多色)

多色木版の制作及び技法の展開

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考	
1	9月3日	月	○	多色木版トレーニング (正方形の木版を使って)	○	版分解・トレースについて		
2	9月4日	火		現代美術演習A		正方形作品制作・下図制作・トレース		
3	9月5日	水		正方形作品制作・下図制作・トレース		正方形作品制作・下図制作・トレース		
4	9月6日	木	○	彫版について		彫版		
5	9月7日	金		彫版		絵画技法実習		
6	9月8日	土		彫版 (日本語)		彫版		
7	9月9日	日						
8	9月10日	月		彫版	○	摺りについて		
9	9月11日	火		現代美術演習A		彫版・摺り		
10	9月12日	水		彫版・摺り		摺り・彫版		
11	9月13日	木		摺り・彫版 (西洋美術史・フランス語)	○	作品の展開I (様々な技法)	様々な製版	
12	9月14日	金		摺り・彫版		絵画技法実習		
13	9月15日	土		摺り・彫版 (日本語)		摺り・彫版		
14	9月16日	日		創立記念日				
15	9月17日	月		敬老の日				
16	9月18日	火		現代美術演習A		摺り・彫版		
17	9月19日	水		摺り・彫版		摺り・彫版		
18	9月20日	木		摺り・彫版 (西洋美術史・フランス語)	○	作品の展開II (様々な技法)	様々な摺り	
19	9月21日	金		摺り・彫版		後期ガイダンス		
20	9月22日	土		摺り・彫版 (日本語)		特別講座		
21	9月23日	日		秋分の日				
22	9月24日	月		振替休日				
23	9月25日	火		摺り・彫版		摺り・彫版		
24	9月26日	水		摺り・彫版		摺り・彫版		
25	9月27日	木		摺り・彫版 (西洋美術史・フランス語)	○	作品の仕上げについて	水張り・エディション 他	
26	9月28日	金		摺り・彫版		海外講座		
27	9月29日	土		摺り・彫版 (日本語)	○	講評		

学習目標

「木版画A」で体験した木版画をこの授業ではさらに多色木版画に展開していくことで、木版画技法の充実と色彩について研究します。水性多色木版画の技法は浮世絵に見られるように日本独自の進化を遂げた技法でもあります。古来からの技法を駆使、応用して自由な発想で制作してもらいます。

予習・準備物

水性絵具 (不透明水彩、ポスターカラー、透明水彩、※アクリル系の絵具は不可)、筆各種、絵皿2～3枚または紙パレットの小サイズ。筆、絵皿などは沢山あると便利です。

■予習：下図は授業中に制作しますが、各自エスキースを何枚か制作しておく事。サイズ・画材は問わない。

注意事項

刃物を使用するので緊張感を持って制作する。

評価方法

・制作態度4 ・作品提出6

銅版画2

担当教員 大沼正昭

受講アトリエ [402] [版画工房]

6/25 (月)~7/20 (金)

授業内容

身の回りの自分がこだわっているモチーフや世界を選択し、観察することから自分の表現を探ります。モノクロ作品1点、多色刷り作品1点を制作することで銅版画の魅力を実体験します。版サイズ30×36.5cmのモノクロ作品を1点制作。版サイズ22.5×30cmの多色刷り作品を1点制作。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	6月25日	月	○	ガイダンス・版準備	1年	下絵見当	
2	6月26日	火		現代美術演習A		制作	
3	6月27日	水		制作	○	色々な技法紹介・刷り説明	
4	6月28日	木		西洋美術史Ⅱ		制作	
5	6月29日	金		制作		絵画技法実習	
6	6月30日	土		日本語		現代美術演習B	
7	7月1日	日					
8	7月2日	月		制作	1年	制作	
9	7月3日	火		現代美術演習A		制作	
10	7月4日	水	○	色々な刷り	○	制作	
11	7月5日	木		西洋美術史Ⅱ		制作	
12	7月6日	金		制作		絵画技法実習	
13	7月7日	土		日本語		現代美術演習B	
14	7月8日	日					
15	7月9日	月		制作	1年	制作	
16	7月10日	火		現代美術演習A		制作	
17	7月11日	水	○	制作	○	制作	
18	7月12日	木		西洋美術史Ⅱ		制作	
19	7月13日	金		制作		絵画技法実習	
20	7月14日	土		日本語		就職セミナー	
21	7月15日	日					
22	7月16日	月		海の日			
23	7月17日	火		現代美術演習A		制作	
24	7月18日	水	○	制作	○	本刷り	
25	7月19日	木		西洋美術史Ⅱ		本刷り	
26	7月20日	金	○	講評		絵画技法実習	

学習目標

版上に凹状の窪みを作り凹部にインクを詰め刷りとする技法です。凹部を作る方法として、酸による腐食と直に彫り込む方法とがあります。凹部の深さによって黒の階調が得られます。版を通して個々の表現の可能性を考えます。腐食銅版画の基礎として、エッチング、アクアチントの技法を修得し版表現を実体験します。また、様々な技法を紹介し、自分の表現にあった技法を使って多色刷り作品を制作します。

予習・準備物

版と同サイズのエスキース、新聞紙、エプロン、ウエス、版サイズ30×36.5cmの銅版1人1枚。版サイズ22.5×30cmの銅版1人2枚

注意事項

技法の習得と表現の可能性を発見することが目的です。休まず出席すること。

評価方法

提出作品70% 制作態度・積極性30%

2年 ファインアート科/ビジュアルデザイン科

絵画技法実習 (グリザイユ)

担当教員 工藤礼二郎

受講アトリエ [502]

6/22(金)~7/20(金)

13:00-16:00

授業内容

北方ルネサンスから20世紀のウィーン幻想派に至るまで、様々な絵画表現に用いられたテンペラと油彩による混合技法、及びルーベンスを中心としたバロック期の油彩によるグリザイユを中心に学ぶ。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	6月22日	金		実技カリキュラム	○		
2	6月29日	金		実技カリキュラム	○		
3	7月6日	金		実技カリキュラム	○		
4	7月13日	金		実技カリキュラム	○		
5	7月20日	金		実技カリキュラム	○		

学習目標

ルネサンスから近代に至るまでの西洋絵画の主な油彩技法を習得することを目的とする。

予習・準備物

モノクロの人物写真(顔) サイズ227x158mm(タテ・ヨコ自由)をA4の紙にプリントアウトしたもの 面相筆、平筆(小)

注意事項

評価方法

提出課題による採点

2年 ファインアート科

現代美術演習 A

担当教員 黒瀬陽平
受講アトリエ [302]

6/19 (火)~9/18 (火)
9:00-12:00

授業内容

現代美術への理解を深め、作品制作のヒントを得るために、レクチャーと課題&講評会、課外授業を組み合わせたカリキュラムを行います。レクチャーでは、現代美術についての原理的な解説、日本現代美術史と戦後日本文化全般の解説を中心に行います。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	6月19日	火	○	オリエンテーション+レクチャー①			
2	6月26日	火	○	レクチャー② (課題①出題)			
3	7月3日	火	○	【課外授業】美術館解説ツアー①			
4	7月10日	火	○	課題①講評会+レクチャー②			
5	7月17日	火	○	レクチャー③ (課題②出題)			
6	9月4日	火	○	課題②講評会+レクチャー④			
7	9月11日	火	○	【課外授業】美術館解説ツアー②			
8	9月18日	火	○	講評会			

学習目標

「現代美術」という曖昧な芸術領域について、教科書的な知識だけでなく、より柔軟で多角的な視野から理解し、自らも「作品」を制作できるようにすることを目標とします。レクチャーやツアーなどによるインプットと、課題制作や発表などによるアウトプットの両方を重視します。

予習・準備物

注意事項

評価方法

授業態度及び提出課題による採点

シルクスクリーン2

担当教員 中山隆右

受講アトリエ [402・工房]

5/28(月)~6/22(金)

9:00-12:00/13:00-16:00

授業内容

基本の直接製版方法を重ねて実習、環境にやさしい水性インクを使用し刷紙に刷る。3版3色の作品(25×40cm位)を1点、5色以上を使った作品(25×40cm位)を1点制作、色を刷り重ねる時の表現効果、用具資材の正しい使い方、手順を覚え多彩な効果を会得する。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	5月28日	月	○	スクリーン版画の技法デモンストレーション	○	紗張り・ポジ作り	作品を意識する
2	5月29日	火		現代美術演習A		ポジ作り	
3	5月30日	水		ポジ作り		製版	
4	5月31日	木		西洋美術史Ⅱ	○	製版	刷り紙を知る
5	6月1日	金		一色目刷り		絵画技法実習	
6	6月2日	土		日本語		現代美術演習B	
7	6月3日	日					
8	6月4日	月		二色目刷り	○	三色目刷り・作品発表	資材研究
9	6月5日	火		現代美術演習A		二点目作品・ポジ作り	
10	6月6日	水		ポジ作り		ポジ作り	
11	6月7日	木		西洋美術史Ⅱ	○	ポジ作り・製版	ポジ作りを知る
12	6月8日	金		ポジ作り・製版		絵画技法実習	
13	6月9日	土		日本語		現代美術演習B	
14	6月10日	日					
15	6月11日	月		製版	○	製版	色口な製版方法を知る
16	6月12日	火		現代美術演習A		製版	
17	6月13日	水		一色目刷り		一色目刷り	
18	6月14日	木		西洋美術史Ⅱ	○	二色目刷り	多色刷りの確認
19	6月15日	金		二色目刷り		絵画技法実習	
20	6月16日	土		日本語		現代美術演習B	
21	6月17日	日					
22	6月18日	月		三色目刷り	○	三色目刷り	刷りの技法を知る
23	6月19日	火		現代美術演習A		四色目刷り	
24	6月20日	水		四色目刷り		五色目刷り	
25	6月21日	木		西洋美術史Ⅱ		五色目刷り	
26	6月22日	金	○	作品仕上げ・講評会		絵画技法実習	

学習目標

シルクスクリーン版画制作を通して孔版画の専門的知識を習得し、自己表現に結びつくよう学習します。公募展出品作品制作を目標とします。

予習・準備物

シルクスクリーン版画を調べ、それぞれの作家の表現効果を考える。下絵、紙コップ、プラスチックスプーン、ウエス(ボロ布)、新聞紙、用紙いづみ8枚、エプロン

注意事項

失敗を恐れず自己の表現したいイメージを、成し得る表現方法を考えてトライしてください。

評価方法

積極性と提出課題による採点

2年ファインアート科版画専攻

リトグラフA

担当教員 中村真理

受講アトリエ [402・工房]

5/11(金)~5/25(金)

9:00-12:00/13:00-16:00

授業内容

リトグラフの特性を利用して個々の表現したいテーマに基づき制作する。4版種の中でもリトグラフの版作りは彫るのではなく「描く」という行為に近い版なので、普段の絵を描く様に手を動かし自分自身で体験しながらリトグラフの仕組みを学んでいく。各自のテーマや表現したいことに応じて大きさ等は検討する。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	5月11日	金	○	オリエンテーション(技法説明、描画材の説明、版の準備)		絵画技法実習	
2	5月12日	土		日本語		現代美術演習B	
3	5月13日	日					
4	5月14日	月		試作の版の描画	○	製版、刷りの説明	
5	5月15日	火		現代美術演習A		描画	
6	5月16日	水		描画、製版		製版	
7	5月17日	木		西洋美術史Ⅱ	○	試作の版の刷り	
8	5月18日	金		刷り、提出作品の描画		絵画技法実習	
9	5月19日	土		日本語		現代美術演習B	
10	5月20日	日					
11	5月21日	月		描画	○	描画	
12	5月22日	火		現代美術演習A		描画	
13	5月23日	水		製版、刷り		製版、刷り	
14	5月24日	木		西洋美術史Ⅱ	○	刷り	
15	5月25日	金	○	仕上げ、講評		絵画技法実習	

学習目標

講義、実習を通してリトグラフの製版方法や刷りの行程を学び、リトグラフの特性を活かした制作を行う。

予習・準備物

アルミ版(45.5×60.6cm)、制作のもとになるエスキース、ウエス、新聞紙、紙(上質紙、いづみ等)、描画材(ダーマトグラフ、リトクレヨン、油性ボールペン等)、定規、筆、鉛筆、マスキングテープ等

注意事項

作業行程の多い技法なので、計画的に進めること。オリエンテーションまでにエスキースはなるべく仕上げてください。

評価方法

提出課題による採点

2年 ファインアート科

現代美術演習 A

担当教員 山本 晶

受講アトリエ [501]

4/17 (火)~6/12 (火)

9:00-12:00

授業内容

発想から表現へ、どのようなアプローチをすればいいのかを実践を通じて探ります。現代の美術の様々な表現方法を分析しテーマに対してどのように実践をするか演習します。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月17日	火	○	オリエンテーション			
2	4月24日	火	○	表現とモチーフとは			
3	5月8日	火	○	演習I 人の考え1			
4	5月15日	火	○	演習II 人の考え2			
5	5月22日	火	○	演習III 描写について			
6	5月29日	火	○	演習IV 色について			
7	6月5日	火	○	演習V 構造について			
8	6月12日	火	○	講評			

学習目標

より一層多様化する美術表現に対する理解力を身につける。

予習・準備物

注意事項

評価方法

提出課題による採点

2年 ビジュアルデザイン科/ファインアート科

絵画技法実習

担当教員 安藤孝浩

受講アトリエ [502]

4/13(金)~6/8(金)

13:00-16:00

授業内容

北方ルネサンスから20世紀のウィーン幻想派に至るまで、様々な絵画表現に用いられたテンペラと油彩による混合技法、及びルーベンスを中心としたバロック期の油彩によるグリザイユを中心に学ぶ。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月13日	金			○	オリエンテーション	
2	4月20日	金			○	制作	
3	4月27日	金			○	制作	
4	5月11日	金			○	制作	
5	5月19日	金			○	制作	
6	5月25日	金			○	制作	
7	6月1日	金			○	制作	
8	6月8日	金			○	講評	

学習目標

ルネサンスから近代に至るまでの西洋絵画の主な油彩技法を習得することを目的とする。

予習・準備物

注意事項

評価方法

提出課題による採点

木版画A

担当教員 鈴木吐志哉

受講アトリエ [402・工房]

4/10(火)~5/10(木)

9:00-12:00 13:00-16:00

授業内容

900×600mm(1版単色)、水性木版画の作品の制作および基本技術と技法の展開

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM
1	4月10日	火		アトリエ設営	○	オリエンテーション・彫りについて①・テストプレートを使いながら
2	4月11日	水		テストプレート彫版		テストプレート彫版
3	4月12日	木			○	摺りについて①(パレンの使い方・和紙の湿し方)テストプレート試摺り
4	4月13日	金		(制作開始)彫版		
5	4月14日	土				
6	4月15日	日				
7	4月16日	月		彫版	○	彫りについて②(彫りの効果・工夫)
8	4月17日	火				彫版
9	4月18日	水		彫版		彫版
10	4月19日	木		彫版・試摺り		彫版・試摺り
11	4月20日	金		彫版・試摺り		
12	4月21日	土				
13	4月22日	日				
14	4月23日	月		彫版・試摺り	○	摺りについて②(摺りの効果・工夫)
15	4月24日	火				試摺り・彫版
16	5月7日	月		試摺り・彫版		試摺り・彫版
17	5月8日	火				試摺り・彫版・本摺り
18	5月9日	水		本摺り・修正		本摺り・修正
19	5月10日	木			○	作品の仕上げ・サインとエディションについて・講評

学習目標

木を彫り、紙にパレンで摺るといった原始的とも言える木版画の技法はシンプルであるがゆえに様々な展開が可能です。東洋、特に日本の伝統的な技法である水性木版画の基本的な技法を体験するとともに各自の作品の制作にどう生かしてゆけるのかを考えます。

予習・準備物

版木(ウッドライクマツムラ6m/m厚シナ両面)、筆各種、絵皿2~3枚または紙パレットの小サイズ。筆、絵皿などは沢山あると便利です

注意事項

刃物を使用するので緊張感を持って制作する。

評価方法

提出課題による採点・出席日数